

山口高等商業学校 校歌

校歌の制定



♪仰ぐは鳳翽、臨むは樵野～♪ 山口高商生に愛唱されたこの校歌は、土井晩翠作詞、山田耕筰作曲である。開校25周年に当たる昭和5(1930)年5月18日に「永遠の伝唱」を祈念して発表された。寮歌「花なき山」とともに長く愛唱され、戦後、山口大学経済学部に代わっても歌われ続けた。



校歌の原稿

土井晩翠 (1871-1952)

詩人、英文学者。滝廉太郎作曲の「荒城の月」の作詞者としても知られ、校歌・寮歌なども多く作詞した。

山田耕筰 (1886-1965)

日本初の管弦楽団を造るなど日本において西洋音楽の普及に努めた。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の指揮も行う。「赤とんぼ」の作曲者。

英国人教師 ガントレット

明治40(1907)年に着任し英語及び商業実習を担当したエドワード・ガントレットは、学生から「ガンさん」の愛称で親しまれた。彼の夫人は作曲家・山田耕筰の姉である。

音楽にも秀でていたガントレットは、耕筰の少年時代に西洋音楽の手ほどきをしたと言われ、その縁で校歌の作曲も手がけたといわれる。また、ガントレットは英国王立地学協会に属し、学生達と秋芳洞の学術調査を行い「秋吉台山洞穴略図」を作成した。秋吉台や秋芳洞を世界に紹介し、秋吉台科学博物館には彼の胸像が設置されている。



右からガントレット、山田耕筰、ガントレット夫妻の娘、恒子夫人